

世界で活躍できる研究者戦略育成事業 地方協奏による 世界トップクラス の研究者育成



地方協奏による世界トップクラスの研究者育成
HIRAKU GLOBAL
Home for Innovative Researchers and Academic Knowledge Users Driving Global Impact

国内外の研究機関と連携することで、若手研究者への実践的機会を提供し、研究の世界展開を支援

2019年度、山口大学は、広島大学を代表機関として、徳島大学、愛媛大学と共同で、文部科学省「世界で活躍できる研究者戦略育成事業（プログラム名：地方協奏による世界トップクラスの研究者育成(HIRAKU-Global)）」に採択されました（実施期間2019年度～2028年度）。

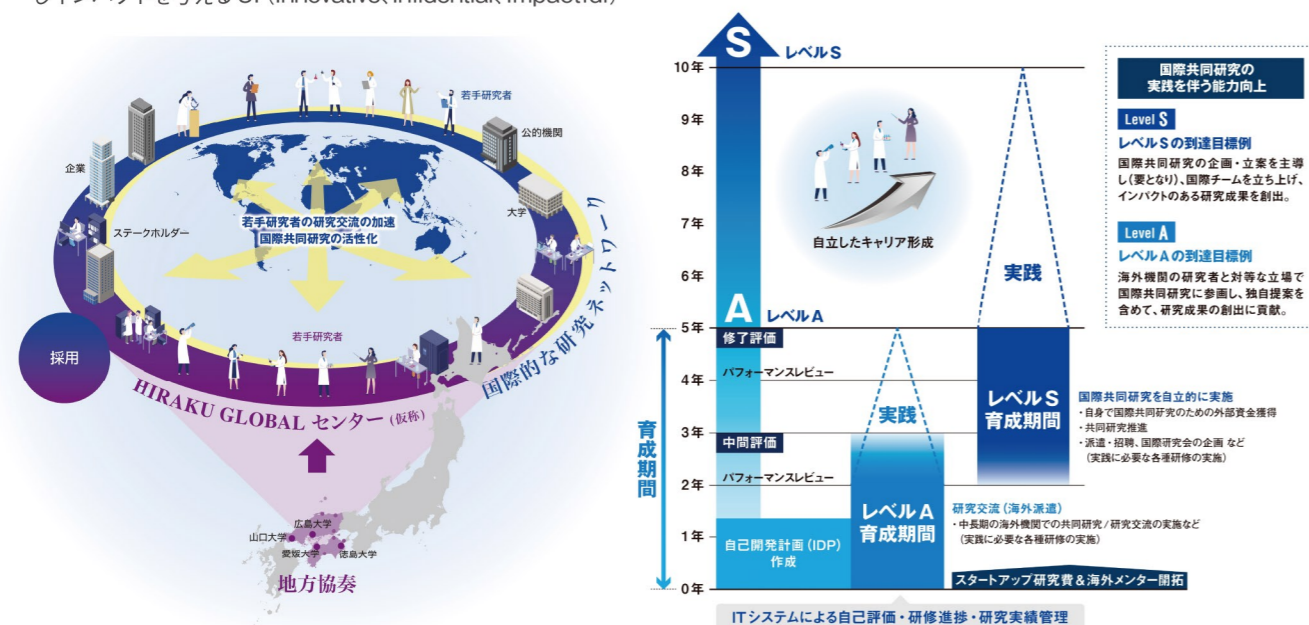
この事業では、『自分の研究室を運営し、学生を育てつつ、さまざまな分野の国内外の研究者と連携し、独自の研究感性を磨き、世界でもユニークな研究を牽引していくことができる研究人材』の育成を目指しています。

そのために、中国四国地方にある実施機関が総力を挙げて、国際的なコミュニティの中で、確かな存在感と影響力を有しインパクトを与える 3I (Innovative, Influential, Impactful)

研究者を育成するプログラムを開発し、世界トップクラスの若手研究者を育成しています。

また、上記4大学のみでなく、中国四国地方における国立大学および公私立大学に連携機関として参画を促し、中国四国地方の強みを生かす研究者育成プログラムの構築に取り組んでいます。

研究者育成拠点として代表機関、共同実施機関、連携機関による「地方協奏による世界トップクラスの研究者育成」コンソーシアムを形成し、国内外から研究者が多数集まり、優れた研究環境とさわめて高い研究水準を誇る「研究拠点」の形成を目指します。



地方協奏による世界トップクラスの研究者育成コンソーシアム

研究者育成プログラムにおける能力開発プロセス

プログラムの特長

優秀な若手研究者を確保するため、国際公募によって新規に採用、あるいは在籍する多様なテニュアトラック教員から、複数の育成対象者を選抜します。国際的な活躍を目指す研究者育成のため、選抜されたテニュアトラック教員に対して、スタートアップ経費や中長期海外派遣経費などの支援のほか、複数メンターによる助言、国際共同研究の実践をともなう能力開発等の機会を提供しています。支援期間は育成対象者がテニュアを獲得するまでの最大5年間となります。

山口大学独自の育成プログラム

山口大学独自の育成プログラムとして、HIRAKU-Global選抜教員だけでなく主に若手研究者を対象としたデザインセミナー、プレゼンテーションセミナー、英語論文執筆セミナー、研究室運営セミナー等を開催しています。また、学長・理事とテニュアトラック教員との懇談会や学内のテニュアトラック教員同士の交流会、異分野融合を促進するイベント(私の研究紹介します～山大100人論文～、山大研究者トーク)も開催しています。これらのプログラムにより、若手研究者の研究力アップが期待できるとともに、研究者同士の共同研究に向けたコラボレーションができてつあります。

世界とつながり成長する研究者たち HIRAKU-Globalの支援を受け活躍中の教員を紹介します。

蓮池 里菜 助教

創成科学研究科
(工学系学域)



私の研究分野は社会建設工学、中でも鋼構造、鋼材腐食です。2021年4月に山口大学に助教として着任しました。

HIRAKU-Global事業の支援を受け、約2.5か月間、オーストラリアのRMIT(Royal Melbourne Institute of Technology)大学にて研究活動を実施すると共に、複数の国際会議へ参加しました。私の研究の主題は鋼橋の維持管理です。簡単に言えば、「さびない材料を活用して橋を長生きさせる」ことについて研究しています。今回の滞在では、先方がコンクリート構造物を対象に実施してきた画像解析手法を鋼材の腐食程度判定に適用することでその精度向上を目指し、研究を進めました。また、先方が進めている建築物を対象とした劣化予測手法について、鋼橋への適用性を検討しました。本支援により海外渡航し滞在了りたことで、研究設備や学生の様子を直に見学することができ、より具体的な議論に繋がったと感じます。今回の滞在で得られた研究ネットワークを、今後の研究に活用していきます。

佐藤 悠 助教

創成科学研究科
(農学系学域)



私の研究分野はゲノム微生物学です。2022年4月に山口大学に助教として着任

し、審査を経て同年6月よりHIRAKU-Global事業に採択されています。本事業では研究費支援のほか、国内外の著名な先生方から豊富な経験に基づいたキャリアパス等に関する助言を受けることができます。特に、研究の進め方や研究室の運営に関するノウハウを知ることができ、研究室の立ち上げをよりスムーズに行うことができています。また、オンサイトとオンラインの両方を駆使して、同事業に採択された異分野の研究者の方々との交流の場も設けられています。知識の幅が広がるだけでなく、多角的に自身の研究を見つめ直す良いきっかけとなっています。さらに、海外渡航支援制度により国外の第一線で活躍する研究者のもとで修行を積むこともでき、コロナ禍にて分断された海外との交流の再構築も可能です。今後もHIRAKU-Global事業の支援を最大限に活用し、研究を盛り上げていきたいと思っています。